

いよいよ デクラスが始まります 3月23日

いよいよ デクラス(情報開示)が始まります。

様々な情報から判断すると、3月末までには始まるのではないかと考えています。

ホワイト米軍の精鋭部隊は、緊急放送(デクラスの)に必要な設備を、ディープステートの本拠地の秘密の地下基地から押収したそうです。

ディープステートの秘密の本拠地の地下には、携帯電話からケーブルテレビ、インターネットのバックボーンまで、あらゆる通信を遮断できるコンピューターネットワークである「緊急放送システム」(EBS)の全米一の送信設備があったそうです。

トランプ大統領もマールアラーゴの内輪の会合で、「もうすぐ、とてももうすぐ、清算の時が来る」と発言しています。

まずはアメリカで、トランプ大統領とホワイト米軍が決起し、世界のアースアライアンス同盟軍がそれに続くことでしょう。日本にアースアライアンス同盟軍はいるのでしょうか。

私は、日本の自衛隊も米軍のように、ホワイトとブラックに分かれているのではないかと考えています。アースアライアンスによって、日本の児童監禁の地下基地はすでに壊滅していますし、主要な関係者はすでに処刑されています。

プーチン大統領、インドのモディ首相はアースアライアンス同盟軍です。

サウジアラビアもベラルーシもアースアライアンス同盟軍です。

現在、ウクライナ侵攻で多大な経済制裁を受けているロシアを援助しているのは、インドと中国です。ちょっと信じられないのですが、習近平はアースアライアンス同盟軍に属しているようです。

中国は、習近平派と江沢民派に分裂して抗争しています。

江沢民派は、永年アメリカのディープステートと親密な関係を築いてきています。

2020年のアメリカ大統領選挙でも、バイデン候補への不正投票操作に加担しています。

チベットでのジェノサイド(大虐殺)は江沢民を含む歴代主席達の犯罪です。

江沢民は1994年に「愛国主義教育実施綱要」を発表し、幼稚園から大学まで全教育課程で徹底した反日教育が始まりました。

「日本の軍国主義による犠牲者3500万人」や「南京大虐殺30万人」といった嘘を教えてゆきました。

逮捕した法輪功信者から始まり、巨大産業に発展した、生きた人間からの臓器移植も、江沢民が始めたものです。その生きた人間からの臓器移植は、多くのウルグアイ人も被害者となってゆきました。

コロナ・パンデミックの原因となったコロナ菌は江沢民派の武漢研究所から流出したものです。

アメリカのファウチ博士が元のコロナ菌と資金を出して、武漢研究所で生物兵器としての研究をさせていました。(習近平の汚点には、どのようなものがあるのでしょうか?)

デクラスの内容や進展の詳細なことや、アースアライアンス同盟軍の詳細なことは分かりませんがともかく、この3月末までには、アメリカからデクラスが開始されると判断しています。

すでにプーチン大統領は、デクラスやネサラ・ゲサラに向けた大改革を実行しつつあります。

デクラスが生まれれば、ディープステートは、どのような反撃をするのでしょうか?

マスメディアの捏造報道を信じ込んできた人々は、どのような反応をしてゆくのでしょうか?

ネサラ・ゲサラは何月頃から始まってゆくのでしょうか?

台湾に関する情報の判断に迷っています。

台湾に生物兵器研究所が存在し(アメリカが設置)、その排除のために中国が台湾に侵攻し、アライアンス同盟軍も、ウクライナの時のように、中国の侵攻を暗黙の了解や援助をしてゆく可能性がある、という情報です。

デクラスが始まれば、このことも明らかになってゆくことでしょう。



デルタフォース、ディープステートの拠点を押さえる

By Michael Baxter -2022年3月17日 ([Real Raw News](https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/03/blog-post_40.html)より翻訳)

https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/03/blog-post_40.html

3月15日(火)

デルタフォースをはじめとする軍隊の特殊作戦部隊は、犯罪者バイデン政権のゲシュタポ警察、連邦緊急事態管理庁(FEMA)とそのバージニア州のあまり知られていない本部があるディープステートの主要拠点を大胆にも押収した。

FEMAの秘密の世界の礎は、ワシントンから50マイルも離れていないバージニア州の広大なブルーリッジ山脈の中にある。ここは1950年代から、影の政府の主要な緊急避難所として機能してきた。山の地下には、トンネル、廊下、部屋からなる広大な迷宮があり、ディープ・ステートが法を遵守するアメリカ市民を奴隷にしようとしている場所である。

最高級のバンカーの設備と生命維持装置を備えている。山の頂上にはヘリコプターの発着場と下水処理場があるが、その下には飲料水と冷却のための地下貯水池、ディーゼル発電機、病院、ラジオ・テレビ放送施設、カフェテリア、消防署と警察隊があり、本当の施設が存在している。避難してきた人たちが一日中交代で寝られるように、青いメッシュのハンモックが800個ほど用意されていた。

食堂のテーブルにはプラスチックの花が飾られている。13トンもある防空扉の向こうは、迷路のような通路が地底まで続いている。この地下壕は、数百人の職員が5年間は住めるように設計されている。厨房は1日3,000食、冷凍庫は死体安置所として使用され、冷凍野菜や死体が並べられていた。

ウェザー山には、携帯電話からケーブルテレビ、インターネットのバックボーンまで、あらゆる通信を遮断できるコンピューターネットワークである「緊急放送システム」(EBS)の全米第一の送信所もある。

EBSは、アンバーアラートシステムや国立気象局の緊急メッセージシステムなどの緊急送信機をより強力で洗練されたものにしたもので、全米のEBSは、このEBSの拠点でもある。

軍の高官筋がRRNに語ったところによると、EBSを掌握することがデルタフォースの第一の目的だったという。

具体的な作戦の詳細は明かさなかったが、デルタフォースのオペレーターが1年間にわたる潜入捜査でFEMAに潜入し、FEMAの階層に入り込み、地域の監督者と親しくなったということだった。

やがて彼は、ウェザー山の唯一の出入り口であるブラストドアにアクセスできる地位まで上り詰めた。

しかし、指紋と網膜の両方のスキャンが必要なドアの奥にあるEBSには立ち入ることができなかった。

「FEMA(連邦緊急事態管理庁)の職員が、万が一のために常にEBSに出入りしていることを知ったのです。

しかし、FEMAがルイジアナでトレーニング・セミナーを計画しており、ほとんどの職員がそちらに行ってしまうため、山の警備には20人の職員しか残されていないこともわかりました。

彼は、ブラストドアを開けてデルタフォースを入れることができました」と、情報筋は語っている。

3月15日(火)、無名のデルタフォース・オペレーターと第75レンジャー連隊の米軍兵士がウェザー山に突入し、地下に侵入した直後に抵抗に遭った。FEMAのエージェントがサイドアームを抜き、マガジンを空にする激しい銃撃戦が繰り広げられた。

しかし、デルタフォースは身を隠して応戦し、わずか数秒で6人の隊員を殺害した。

「オペレーターは、EBSにアクセスできる者は銃撃戦に参加しないだろうと考えていた。

幸いなことに、彼らは正しかった」と情報筋は言う。

不意を突かれ、ウェザー山のアサルトライフルの武器庫にも手が届かず、FEMAは12名の死者を出して降伏した。デルタフォース2名が撃たれたが、命に別状はないとのことだ。

デルタフォースのオペレーターは、生き残ったFEMAエージェントを一人ずつ捕まえ、親指と目をEBSルームを守るスキャナーに当てるように強要した。

最終的に、ある捜査官の親指と目が、軍が「高価値の標的」と呼ぶものへの入り口であるドアを開けた。

一方、作戦成功の知らせを受けた精鋭兵士の中隊(兵科や部隊を明らかにしないよう要請されている)は、ホバリングするヘリコプターから懸垂下降し、12台のハンマーから降りて、空と陸でウェザー山に降下してきた。

「ホワイト・ハット」運動に忠実な150人の米軍兵士が、マウント・ウェザーの安全を確保し、アクセスコードを変更し、ブラストドアを封鎖したのだ。

FEMAが戻ってくると、捜査官たちは、なすすべもなく窮地に立たされた。

「山は軍が支配している。ドアは難攻不落だ。この作戦は長かった。そして今、我々はEBSを支配している。

乞うご期待、もうすぐメッセージが来るかもしれない」と情報提供者は語った。



トランプは "清算" を約束する

By Michael Baxter - 2022年3月13日 (Real Raw News より翻訳)

https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/03/blog-post_13.html

マール・ア・ラゴの情報筋が、匿名を約束してReal Raw Newsに語ったところによると、ロシアのウラジミール・プーチンがウクライナで**バイオラボを略奪し、投獄された子供たちを解放**し始めて以来、ドナルド・J・トランプ大統領は最も信頼するアドバイザーと多くの時間を非公開で協議してきたと、土曜日に語った。

RRNは、トランプとロシアの指導者の間の連絡を報告した最初のはけ口であり、この感情は現在、ネット上の多くの代替ニュースサイトによって繰り返されている。

トランプは、1991年8月24日にソ連からの独立を宣言した後、ウクライナの田舎に一齐に現れた**生物兵器研究所**と**児童売買組織**の腐敗した国を一掃するという**プーチンの決意**を内心賞賛している。

ソ連邦の解体から数か月も経たないうちに、欧米の資金が高圧ホースの水のようにウクライナに吹き込まれた。米国、ドイツ、イスラエルから数百万ドルが、当時のウクライナ大統領レオニド・クラフチュクの私財箱に注ぎ込まれた。彼は、外国勢力に外国の土地に生物兵器研究所を建設させることと引き換えに、喜んで米国の現金を受け取ったのである。

土曜日の夜、トランプはフィレンツェでの「アメリカを救え(Save America)」集会を終えた直後、側近たちに、**ウクライナで起きていることと同様の「非常に大きな清算」をアメリカはまもなく経験することになるだろう**と話した。

「トランプは、もうすぐ**"清算"**の時が来ると言った。**"清算"**とは、**実際に何が起きているのか、そして米国内外のディープステートの陰謀に対してきっぱりと戦争を仕掛けるために彼が取った行動を国民に認識させる時だ。**

信じられないかもしれないが、**彼はプーチンや習近平と一緒に、生物兵器研究所だけでなく、文字通り世界中にはびこる児童ペドリング(幼児誘拐や性的虐待を取りまとめる犯罪ネットワーク)も世界から排除するために働いているのだ。**

中国は、米国が台湾にもバイオラボを設置したと言っており、それが台湾奪還に関心を示した理由の一つだ」と、情報筋は語っている。

トランプ大統領は、ウラジーミル・プーチンがウクライナ中央部にあるファウチが資金提供した11の生物兵器研究所を本当に粉々に吹き飛ばしたという反論の余地のない証拠を持っていると、彼の仲間に語ったと彼は付け加えた。

「私を信じてください。誰も見たことのないような、信じられないような清算がまもなくここで行われるでしょう。そのとき、私は、このような甚だしい事態になるとは思わなかった。フェイクニュースを信じるな。私はどこにも行ったことがない。戻ってくることもない。ずっとここにいるんだ」。

「もうすぐ、とてももうすぐ、国はロシアとウクライナで起こっていることの真実を知ることになる、それは途方もないことだろうし、9/11の真実やその他多くのことを知ることになる。それらの途方もない詐欺は、破滅の不快な地獄だ」とトランプは続けた。

多くのアメリカ人が直面している絶望と落胆に代わって、驚くべきことがすぐに起こるだろう、と我々の情報源は述べている。

ディープステートと戦うトランプ大統領は、世界の主要メディアから印象を悪くするフェイクニュースを流され続けてきたため、ほとんどの日本人はトランプ大統領を嫌っているようです。過去にホームページに掲載した項目の中から、トランプ大統領の実相を称えた動画を、いくつか下記に掲載いたします。

アメリカ大統領選挙の情報戦 12月9日 その2 1月5日 より抜粋



337【ブレないトランプ】今から32年前の1時間番組の抜粋です | 大統領選挙には多分でないよ、だって | そして、出たら勝つと思う？の回答も
71,369 回視聴 • 2020/11/08
[Cindy Canada【ニュースエンタメ】](#) チャンネル登録者数 2.35万人

<https://www.youtube.com/watch?v=3codslGceJA>



2020年8月27日に最終日を迎えた米共和党の全国党大会で、ドナルド・トランプ大統領の指名受諾演説に先立ち、娘のイヴァンカ・トランプ大統領顧問がホワイトハウス南庭の会場で演説しました。
トランプ大統領の偉大さがわかるイヴァンカさん演説
53,505 回視聴 • 2020/12/01 [ガイド俊介 / Guide.S](#)

https://www.youtube.com/watch?v=a7Fa7_ShDLs



【トランプ愛】子供大好き！心優しき大統領
73,712 回視聴 • 2020/12/18
[ガイド俊介 / S's News Channel](#)

<https://www.youtube.com/watch?v=Wq-CuPhRZIU>

米国防総省は世界30ヶ国で計336ヶ所の生物学研究所をコントロール下に置いている。
Tanto Tempo 2022-03-15

<https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/03/15/132315>

INDEX

1. 米国防総省は世界30ヶ国で計336ヶ所の生物学研究所をコントロール下に置いている。
 1. 在ウクライナ米国大使館は生物学研究所に関する文書を削除した。
 2. 在韓米軍に6年で15回炭疽菌を送った。
 3. フォートデトリックは「MKウルトラ」の重要拠点でもあり、2019年にCDCにより閉鎖された。
 4. アメリカは生物兵器禁止条約の検証議定書交渉を妨害してきた唯一の国。
2. ビデオ：調査ドキュメンタリー「ペンタゴン・生物研究所」

米国が資金援助してウクライナ国内で実施していた軍事生物計画が暴露されたことで、米国が世界中で繰り返している生物軍事活動に世界の注目が集まっている。

中国外交部(外務省)の趙立堅報道官は3月8日、「米国防総省は『バイオセーフティ・リスク軽減のための協力』、『世界の公衆衛生の強化』などの名目で、**世界30ヶ国で計336ヶ所の生物学研究所**をコントロール下に置いている」と指摘した。

世界中で生物実験を行っている米国は一体何をしようとしているのか？米国が国際社会に説明すべき時が来た。

在ウクライナ米国大使館は生物学研究所に関する文書を削除した。

国際社会の疑念や懸念を前に、米国は逆に噛みついてきた。だが実際には、在ウクライナ米国大使館は2月25日、キエフやオデッサなどに米国が設置した生物学研究所に関する文書を公式サイトから削除した。隠蔽を繰り返す米国は、一体どれだけ大きな秘密を隠しているのだろうか。

在韓米軍に6年で15回炭疽菌を送った。

米UPI通信社によると、2009年から2015年までに米軍が在韓米軍に計15回炭疽菌を送り、22人が曝露する事故も起きていた。韓国「統一新聞」の2020年の報道によると、在韓米軍は韓国に炭疽菌生物化学兵器研究所を4ヶ所設置し、炭疽菌実験を繰り返していた。昨年には韓国の民間団体が在韓米軍の生物化学研究所とフォート・デトリックを相手取り、2017年から2019年にかけて在韓米軍が猛毒と有害物質を繰り返し韓国内に搬入していたことを認めるよう裁判所に求める訴訟まで起こした。



アメリカは生物兵器禁止条約の検証議定書交渉を妨害してきた唯一の国。

米国は20年以上にわたって、生物兵器禁止条約(BWC)の検証議定書交渉を妨害してきた唯一の国であり、世界で生物軍事化活動が最も多く、最も不透明な国だ。米国の336ヶ所の生物学研究所では、一体どんなウイルスが保管され、どんな研究が行われてきたのか？米国の「透明性」を示す第一歩として、米国内外での生物軍事化活動について全面的かつ明確な説明を行うとともに、国際的な査察を受け入れるべきである。

8年にわたるCIAの計画でロシアは嵌められたのか？
 ウクライナ軍の全体を指揮しているのは西側とアメリカの代表だ。
 Tanto Tempo 2022-03-19

<https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/03/19/021641>

INDEX

1. 8年にわたるCIAの計画がロシアの侵攻を起こさせた。アメリカの罠だったのか？
 1. 2014年から始めていたアメリカのウクライナへの訓練。
 2. アメリカ国内でもウクライナ兵に「反乱を起こす方法とロシア人を殺す」訓練を行っていた。
 3. ロシアの侵攻の直前にアメリカは兵を引き上げている。
 4. 予想を超えるウクライナの激しい抵抗。カネと武器を供与して戦争を煽るバイデン政権。
 5. ベラルーシのルカシェンコ大統領「全体を指揮しているのは西側とアメリカの代表だ」
2. 参考ビデオ1：FOX News 元CIAインテリジェンスオフィサー "CIAは密かにウクライナ軍を訓練している"
3. 参考ビデオ2：「ウクライナでは第五列が活動している」 — プーチン、挙国一致体制で臨むとカパーレとその手駒たち (The Deep State) に宣戦布告

8年にわたるCIAの計画がロシアの侵攻を起こさせた。アメリカの罠だったのか？



ナチスの旗を掲げるアゾフ大隊の兵士たち。

2014年から始めていたアメリカのウクライナへの訓練。

CIAの準軍事部隊は2014年からロシアに支援された分離主義者とのドンバス戦争の最前線でウクライナ軍を訓練しており、先月バイデン政権によって撤収されたばかりだったとYahoo Newsが元米政府関係の発言を引用して水曜日に報じた。

CIAが初めてウクライナ東部に準軍人を派遣したのは、2014年にアメリカが支援するキエフのクーデターとドンバス分離派がクーデター後の政府からの独立を宣言したことに端を発した戦争が始まったときだ。

訓練の一環として、CIAの準軍人たちは、ウクライナ軍の狙撃技術、米国が提供したジャベリン対戦車ミサイルの操作方法、秘密通信などを使って戦場で追跡されないようにする方法などを教えた。

米軍がウクライナ西部でウクライナ軍に対して同様の訓練を行っていたことも公的に認められている。

1月にはYahooニュースが、CIAも米国を拠点にウクライナ軍の訓練プログラムを開催していたことを明らかにした。元CIA職員は、米国を拠点とするプログラムは"反乱軍"を訓練しており、ウクライナ人に"ロシア人を殺す"方法を教えていると述べた。

ウクライナ東部でのCIAの秘密プログラムは、本質的に米国がロシアとの国境での代理戦争に参与していることを意味するので、他の訓練プログラムよりもはるかに挑発的だった。

元政府関係者がYahoo Newsに語ったところによると、トランプ政権の最初の年に、国家安全保障当局はオバマ政権下で開始されたこのプログラムを見直したという。

トランプ政権時の懸念にもかかわらず、秘密プログラムはこの2月まで何年も続けられた。

アメリカ国内でもウクライナ兵に「反乱を起こす方法とロシア人を殺す」訓練を行っていた。

[Yahoo! News](#)は、1月、CIAが米国を拠点にウクライナ軍への訓練プログラムも行ってたことを明らかにした。

元CIA職員は、米国を拠点としたプログラムは"反乱軍"を訓練しており、ウクライナ人に"ロシア人を殺す方法"を教えていると述べた。

ロシアの侵攻の直前にアメリカは兵を引き上げている。

元政府関係者によると、ロシアの侵攻が「ますます深刻になった」とき、バイデン政権は準軍事組織を含むすべてのCIA要員をウクライナから引き揚げたという。ある元政府関係者は、バイデン政権は"違法行為を隠すために内密行動を行っている人々でさえ最前線にいることを恐れていた"と語った。

(ここはこういう表現になっているが、自分たちが8年かけてその"恐ろしい"状況を作り出したのだから、責任逃れを意図した発言のように響く。)

予想を超えるウクライナの激しい抵抗。カネと武器を供与して戦争を煽るバイデン政権。

ウクライナの軍事状況がどうなっているかは分からないが、米国はウクライナがロシアの予想をはるかに超える激しい抵抗をしていると主張している。Yahoo Newsに語った元政府関係者は、この抵抗はCIAの訓練プログラムのおかげでもあるといった。

バイデン大統領は侵略が始まって以来、ウクライナへの新たな軍事支援としてすでに[10億ドル以上](#)を約束しているため、アメリカは戦闘を煽り続けている。

ベラルーシのルカシェンコ大統領「全体を指揮しているのは西側とアメリカの代表だ」

ベラルーシのルカシェンコ大統領は、[西側と米国の代表者](#)がウクライナの軍人を指導していると述べた。

「今、これは私が確信していることだが、もしかしたら間違っているかもしれない。すでにキエフから直接状況をコントロールしている特定の人々がいる。まず前線にいる。

全体を指揮しているのはゼレンスキー大統領ではない。



アメリカでデクラスが開始された後、多くの国家反逆者が逮捕され、ジョンFケネディ・ジュニアも表舞台に登場し、新しい総選挙が実施され、お金のシステムも変換され、ネサラ・ゲサラが始まってゆくことは確かなようです。

しかし、ディープステートに支配されている日本、イギリス、フランス、ドイツなどの国々では、ネサラ・ゲサラの実施に向けて、誰が、どのような改革をしてゆくのか、想像もできません。中国での変革の主導権を握ってゆくのが習近平なのか、他の人なのか、も分かりません。

ともかく、トランプ大統領とホワイト米軍が表舞台に登場してからは、世界は大激変してゆくことでしょう。ディープステートに支配されているマスメディアも、どのように変化してゆくのでしょうか。日常のスーパーマーケットなどでの食料品販売には、どのような変化が生じてゆくのでしょうか。

今まで世界の人々が経験したことない、大激動期が始まろうとしています。ディープステートの支配が終了し、新しい時代が始まろうとしています。陰でアースアライアンス同盟軍を援助してきた銀河連合は、いつ表舞台に登場するのでしょうか。

2022年3月23日 松本安生